３年生世界史Ａプリント１４回目

３年＿＿番氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（６）キリスト教会　　　　　　　　　教科書Ｐ３０～

・東西のヨーロッパでは、二つのキリスト教会が別々に発達した。東方では（　　　　　）が広まったが、西欧・南欧では、修道会が「（　　　　　　　　　　　）」をモットーに布教し、辺境で開拓した。（　　　　　　　　　　）の長である（　　　　　）（法王）は、末端の司祭にまでいたる聖職者のピラミッド型秩序の頂点にあり、権威をもった。11～13世紀にかけて教皇の権威は絶頂に達し、各地の重要都市には（　　　　　　　）がそびえた。

・中世の（　　　　　　　）・産業・（　　　　　　　）を支えたのも、教会であった。ローマ=カトリック教会のことばとして（　　　　　　　）が広まった。『聖書』やギリシアの古典もラテン語に訳され、神学の議論も、また11世紀から各地で創設されはじめた大学の教育もラテン語でおこなわれた。ローマやサンチャゴ=デ=コンポステラ（スペイン）などの聖地への（　　　　　　　）も盛んであった。

・一方、聖地イェルサレムがイスラーム教徒に征服されて、巡礼がさまたげられたとして、11世紀末から（　　　　　　　）の呼びかけにより、各国の王や騎士たちによる（　　　　　　　）の遠征がはじまり、13世紀末までくりかえされた。数度にわたって東地中海方面へ遠征がおこなわれた結果、成熟したイスラーム文明がやがてヨーロッパに伝わることになった。

～ノート～